

質疑応答書

令和8年1月29日

各位

明日香村長森川裕一

(公印省略)

件名	生成AI英会話システム導入事業	
質疑事項	回答事項	
<p>No. 1 「生成 AI 英会話システム導入事業仕様書」の「3 システム構築仕様」に記載の、 (1)概要 ウ 生徒へ配布している電子端末を用いて、生徒が音読・プレゼンテーション練習及びオンライン国際交流ができること エ 電子端末を用いて音読・プレゼンテーション練習を行うだけではなく、オンライン国際交流を実施することで、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び英語学習へのモチベーション向上等に資するものとすることとありますが、本事業は「生成 AI 英会話システム導入事業」であることから、ここでいう「オンライン国際交流」とは、生成 AI を活用した英会話・国際理解を意識した学習活動を指すものと理解してよろしいでしょうか。 実在の海外学校・海外人材等とのオンライン交流を必須要件とする趣旨ではない、という理解で問題ないか、ご教示ください。 なお、仮に後者を必須要件とする場合、本事業の業務名・目的との関係性が不明確であることに加え、当該要件を実施可能な事業者は現時点では限定的であると考えられ、結果として特定の事業形態・提供体制を前提とした要件を受け取られかねません。 そのため、公募型プロポーザルとしての公平性・競争性の観点から問題が生じ得ると考えておりますので、本要件の位置づけおよび趣旨について、誤解の生じないよう明確なご説明をお願いいたします。</p>	<p>オンライン国際交流は、生成AIでの英会話学習の次につながるのステージとして考えていますので、必須条件です。実在の学校・海外人材とのオンライン交流を実施した後に AI より振り返りを行い英会話のレベルアップを図ることを想定しています。</p>	

No.2

「生成 AI 英会話システム導入事業仕様書」の「3 システム構築仕様」に記載の、

(4)教員向けサポート

イ 国際交流英語学習教材の導入及び活用に関するサポートを行うこと

とありますが、別質問でもお伝えしております通り、本事業における「国際交流」という要素については、生成 AI 英会話機能との関係性や要件としての位置づけが読み取りづらい部分があると感じております。

ここでいう「国際交流英語学習教材」とは、どのような内容・形態の教材を想定されているものでしょうか。

生成 AI を活用した英会話・国際理解を意識した教材を指すものなのか、あるいは実在の海外学校・海外人材等との交流を前提とした教材を指すものなのか、要件の趣旨について具体的にご説明ください。

No.3

「生成 AI 英会話システム導入事業仕様書」の「2.明日香村_実施要領」に記載の、

審査期間

におけるデモ環境の提供方式は、提案書に別紙1といった形でログイン用 URL-ID-パスワードの記載といった形でよろしいでしょうか。

国際交流英語学習教材及び導入・活用に関するサポートとは、実在の海外学校・海外人材との交流を前提とした教材・話題設定、時間調整、グループ設定などを想定しています。

試用できるログイン URL・ID・パスワードを4名分ご提示ください。